

第2学年美術科学習指導案

日 時：令和3年11月5日（金） 5時間目
学 級：釜石市立釜石中学校 2年3組29名
会 場：美術室
指 導 者：藤井 典子

1 題材名 「あの日、あのとき、あの気持ち」

2 内容のまとめり 【第2学年及び第3学年】「A表現」（1）「表現の活動」

3 題材の目標

- (1) 形や色などの組み合わせが感情にもたらす効果や、造形的な特徴をもとに、描かれた感情や思いを全体のイメージで捉えることを理解する。材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的にあらかず。「知識及び技能」
- (2) 自分の感情や思いなどから主題を生み出し、単純化や省略、強調、材料の組み合わせなどを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練る。見えないものを形や色であらわした作品の良さや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深める。「思考力、判断力、表現力等」
- (3) 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に自分の感情や思いから発想を広げ、作品にあらかず表現の活動に取り組もうとしている。美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に作者の表現の意図や工夫を感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。「学びに向かう力、人間性等」

4 題材について

(1) 生徒について

1学期に「この窓をのぞいて」という想像を広げる題材において、自分を中心にマッピングし、それをもとに絵で表現するという活動を行ったが、非現実的な世界を想像することが難しく、現実にある自分の好きなものを描く生徒が多かった。自分の内面を表現すること、それを他人に見られることの抵抗感が大きい生徒もいる。

(2) 題材について

今までの生活の中の一場面で感じた気持ちを、粘土を使って抽象立体としてあらかず題材である。自分の表現意図と形や色などの造形要素の関係性を捉えさせやすいよう、なるべく具象的な要素を取り除き、形や色、材料、構成のみで表現させたい。筆での着彩は技術の差が出やすいことと、制作の初期段階から色について意識させたいことから、原則、粘土に絵の具を練り込んで色をつけるようにする。試行錯誤しながら自分なりの表現を獲得する過程が重要であるため、初めに材料と触れ合う時間を十分設定したり、試行しながらアイデアを練らせたりしたい。

(3) 指導について

本題材の試作品は、粘土によるアイデアスケッチと捉える。材料に触りながらアイデアを練る行為は、造形要素と表現内容の関係性を探るうえで重要であり、特に立体的な構成の発想には不可欠である。行為することで発想が生まれ、また行為に繋がり発想へ導かれるという試行錯誤の時間を十分確保したい。

(4) 本研究との関わり

研究主題【主体的に学びに向かう生徒の育成 ～生徒の「問い」を大切にした授業を通して～】

*美術科では「問い」を「願い・思い」として捉えた。

① 「生徒の問いを大切にした授業」について

「どのようにしたら自分の思ったように表現できるのか」という思いを、生徒が自分にあった表現方法で解決し、交流してお互いを認め高め合うことで創造活動が進められる「個が保障される授業」と考える。

② 「問い」のある授業について

★学びを追求する課題設定

・自分ならどうするのか、既習の技法で解決できるのかを考え、活動の見通しを持つ。

★他者との関わりを大切に学習活動と、教師によるファシリテートの在り方について

・グループで自分の作品について説明し、個々の作品の造形要素などに着目して考えを交流する。
・教師から別の視点を与えることで、さらに見方や感じ方を深めさせる。

★学びを実感する振り返り

・自他の作品を鑑賞することで良さや課題を見出し、次時の表現に生かす。

5 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>知 形や色などの組み合わせが感情にもたらす効果や、造形的な特徴をもとに、表現された感情や思いを全体のイメージで捉えることを理解している。</p> <p>技 材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的にあらわしている。</p>	<p>発 自分の感情や思いなどから主題を生み出し、単純化や省略、強調、粘土と道具の組み合わせなどを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。</p> <p>鑑 見えないものを形や色であらわした作品の良さや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。</p>	<p>態表 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に自分の感情や思いから発想を広げ、作品にあらわす表現の活動に取り組もうとしている。</p> <p>態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に作者の表現の意図や工夫を感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>

6 指導と評価の計画（7時間・本時2/7）

時	学習活動	知	思	態	評価方法・留意点等
1 2 (本時)	<p>材料と触れ合う[ためす]</p> <p>・「粘土をどことん試す」というテーマで材料と触れ合い、材料の特徴や道具のさまざまな使用方法を学ぶ。</p> <p>・「うれしい・悲しい・怒り・怖い」の4種類から一つを選び、その感情を表現した物体を制作し、グループ内で発表・鑑賞し、話し合う。</p>	<p>知 ↓</p>	<p>発 ↓</p> <p>発 ↓</p> <p>発</p>	<p>態表 ↓</p> <p>態鑑 ↓</p>	<p>知・技 道具を使って表現できているかを見取り、指導を行う。【活動の様子】</p> <p>発 適した色や形を自分なりに考えて制作しているかを見取り、指導を行う。【ワークシート、活動の様子】</p> <p>態表 主体的に活動に取り組んでいるかを見取り、できていない生徒に対して、イメージする色や形について思考を促す。【ワークシート、活動の様子】</p> <p>発 適した色や形を自分なりに工夫し、制作しているかを評価する。【作品】</p> <p>態鑑 作者の表現の意図や工夫を感じながら、見方や感じ方を深めようとしている態度を評価する。【活動の様子、ワークシート】</p>
3 4	<p>試作品を作りながら、テーマを設定する[いかす]</p> <p>・教科書等の作品を鑑賞し、生活の一場面で感じた気持ちから表現したいイメージを広げる。試作品を作りながら構想を練り、テーマを設定し、立体制作を進める。</p>	<p>知 ↓</p>	<p>発 ↓</p> <p>発</p>	<p>態表 ↓</p> <p>態鑑 ↓</p>	<p>知・技 形や色などが感情にもたらす効果を試しているか、また全体のイメージで捉えることを理解しているかを見取り、出来ていない生徒に対して具体的に示しながら指導を行う。【ワークシート、活動の様子】</p> <p>発 構想を練りながらテーマを設定しているかどうかを見取り、構想が練れていない生徒に対して形の工夫や色について考えさせたりする。【ワークシート、活動の様子】</p> <p>態表 主体的に表現方法を創意工夫しようとしたり、見通しをもって表わそうとしたりしている態度を見取り、指導を行う。【制作途中の作品、活動の様子】</p> <p>発 構想を練りながらテーマを設定しているかを評価する。【ワークシート】</p> <p>態表 主体的に表現方法を創意工夫しようとしたり、見通しをもって表わそうとしたりしている態度を評価する。【活動の様子、ワークシート】</p>
5 6	<p>感情を色や形で表現する[つくる]</p> <p>・試作品を参考にしたり発展させたりして、形や色を使って立体にあらわす。また制作の途中に鑑賞を行い、客観的な視点に立って他者の作品を見たり自分の意図を説明したりすることにより、あらわしたいものをより一層明確にしていくなどしながら作品を完成させる。</p> <p>・ボール紙を加工し、作品にあった大きさのシンプルな台紙を作り、作品カードに思いや工夫したこと、苦労したことを記入する。</p>	<p>技 ↓</p> <p>知・技</p>	<p>発 ↓</p>	<p>態表 ↓</p> <p>態鑑 ↓</p>	<p>技 形などが感情にもたらす効果を生かし、意図に応じて表現方法を工夫しているかを見取り、できていない生徒には構想の確認をしたり他の生徒の作品を紹介したりするなどして表し方の工夫について再考するような指導を行う。【制作途中の作品】</p> <p>発 構想がまとまらない生徒を中心に見取り、指導を行う。【制作途中の作品】</p> <p>態表 主体的に制作に取り組み、形や色などの効果や全体のイメージで捉えることを理解しようとしている態度を見取り、できていない生徒に対して色や形による印象の違いなどの気付かせながら、表現の工夫などについての意欲を高めるような指導を行う。【制作途中の作品、活動の様子】</p> <p>知・技 作品から意図に応じて表現方法を創意工夫しているかなどを見取るとともに、形や色の効果や全体のイメージで捉えることを理解していることを併せて見取り、知と技を知・技として一体的に評価する。【作品、ワークシート等】</p> <p>態表 主体的に制作に取り組み、色や形などの効果や全体のイメージで捉えることを理解しようとし、意図に応じて工夫して表わそうとしている態度を評価する。【作品、活動の様子】</p>
7	<p>お互いの作品を鑑賞する[みる]</p> <p>・共通事項の造形的な要素をもとにした根</p>	<p>知</p>	<p>鑑</p>	<p>態鑑</p>	<p>知 三つの視点を理解しているか確認し、出来ていない生徒に対して具体例を示すなどの指導を行う。【発言の内容、ワークシート】</p>

<p>扱で3つの作品を選択したり,発表したりする。</p>	↓	↓	↓	<p>鑑 鑑態 作品の造形的な良さや美しさを感じ取り,作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えることが出来ているか等と,取り組む態度とをそれぞれ見取り,できていない生徒に対してテーマから作品を見つめさせたり,作者の心情について考えさせたりするなどの指導を行う。【発言の内容,ワークシート,活動の様子】</p> <p>鑑鑑 主体的に作品を鑑賞し,形や色などの効果や全体のイメージを捉えることを理解しようとし,造形的なよさや美しさを感じ取ろうとしたり,作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えようとしていたりしているかどうかを評価する。【ワークシート,活動の様子】</p>
-------------------------------	---	---	---	---

7 本時の指導

(1) 本時の目標

- 感情に適した色や形を自分なりに工夫し,物体を作っている。【思考・判断・表現】
- 作者の表現の意図や工夫を感じながら,見方や感じ方を深めようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】

(2) 展開

段階	学 習 活 動 (研究との関連★)	指導上の留意点○ 評価【◆】
導 入 10分	1 前時の振り返り 2 学習課題の設定 ・感情について話し合う。 本時の課題：感情を「色と形」で表現しよう。	○粘土をとことん試したことを確認する。 ★学びを追求する課題設定 ○「うれしい・悲しい・怒り・怖い」の4種類にしぼる。 ○目に見えない感情を,色や形を使って目に見えるように表現する活動であることを伝える。
展 開 37分	3 課題解決 ・感情と色を決めて,ワークシートに記入する。 ・形を考えながら,物体の制作をする。 ・ワークシートに制作過程メモを記入しながら作業を進める。 4 グループ鑑賞 ・表現した感情について色と形の理由を発表する。 ・色と形の印象について話し合う。 ★他者との関わりを大切にする学習活動と,ファシリテートの在り方について (1つあげる) 5 振り返り ★学びを実感する振り返り ・自分または他者の作品について振り返る。	○第1印象で頭の中に浮かんだ色と,形のイメージを大事にすることを伝える。 ○個人活動時間は20分間であること,制作しながらメモを記入すること(途中で感情が変わってもかまわないこと)を伝える。 ◆感情に適した色や形を自分なりに工夫し,物体を作っている。【思考・判断・表現】 ◆作者の表現の意図や工夫を感じながら,見方や感じ方を深めようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】 ○なぜそう思ったのか根拠を明確にすることを確認する。
終 末 3分	6 次時の確認	○次時からは「生活の一場面で感じた気持ち」を表現することを伝える。

(3) 本時の評価規準

	十分満足 (A)	概ね満足 (B)	努力を要すると判断される状況への生徒への指導の手立て (C)
思 判 表	様々な道具を試しながら,感情に適した色や形を自分なりに工夫し,物体を作っている。	感情に適した色や形を自分なりに工夫し,物体を作っている。	・手順の確認をする。 ・道具を手元に準備し,試しながら作業を進める。
態 度	作者の表現の意図や工夫を深く感じながら,見方や感じ方を深め,自分の作品に生かそうとしている。	作者の表現の意図や工夫を感じながら,見方や感じ方を深めようとしている。	・「形について,色について」というキーワードを提示する。